

# GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

# 地質ニュース



# 7月号

- 
- 191 **自然由来重金属類の濃度分布とそれに関わる環境因子の情報を公開 —九州地方における表層土壌の環境が人に及ぼすリスクを見える化—**  
原 淳子・川辺能成
- 
- 196 **「日光白根及び三岳火山地質図」を刊行  
日光白根火山周辺の噴火史と火口位置が明らかに**  
草野有紀・及川輝樹・石塚吉浩・石塚 治・山元孝広
- 
- 200 **国の内外でパワフルな活躍をされた地質調査所時代の大先輩，平山次郎氏の生涯と業績（中編）**  
徳橋秀一・柳沢幸夫
- 
- 221 **ニュースレター**  
20万分の1日本シームレス地質図の主要編集者が文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門）を受賞
-

# 地質を知って まもる 古都の未来

地質情報展  
2023きょうと

2023

9/16<sub>土</sub>~18<sub>祝</sub>

時間

16日 13:00~17:00

17日 9:30~17:00

18日 9:30~16:00

※最終入場は終了時刻の30分前



講演

事前申込不要

14:00~15:00

定員:100名程度



9/16<sub>土</sub>

「遺跡は語る 京都を襲った大地震」

講師:寒川 旭 (産総研名誉リサーチャー)

18<sub>祝</sub>

「京都の土地のなりたち・京都府の岩石」

講師:小松原琢・武藤 俊 (GSJ)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 一般社団法人  
主催: GSJ 地質調査総合センター・関西センター、日本地質学会  
共催: 山陰海岸ジオパーク推進協議会

後援: 京都市、京都市教育委員会、日本ジオパークネットワーク、  
一般社団法人 株式会社  
関西地質調査業協会、京都新聞社、NHK京都放送局

会場

京都大学

吉田キャンパス 吉田南1号館地階

展示

京都周辺の地震災害と  
地質情報

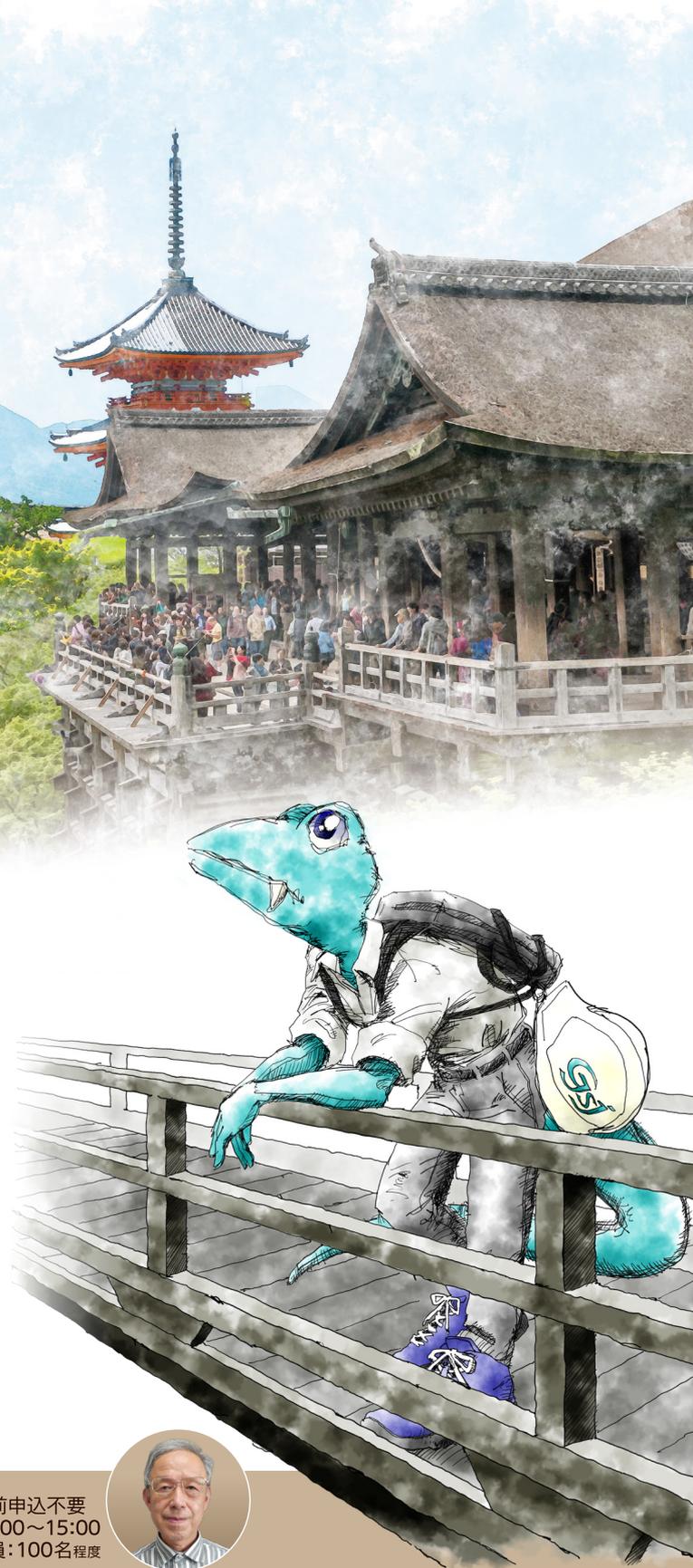
地盤の揺れ実験、液状化実験など  
体験学習コーナーもあります

入場無料

※入場制限が付くことがあります  
※展示内容が予告なく変更される場合があります

お問い合わせ: 事務局

TEL : 029-861-3540  
Email : M-johoten2023k-ml@aist.go.jp  
URL : <https://www.gsj.jp/event/johoten/>





楽しく学ぶ!

## 体験・実験コーナー

地盤のゆれ実験



液状化実験



鳴り砂



ロックバラシング



水路堆積実験



ぬり絵とペーパークラフト



見て・さわって・作って学べるコーナーです。  
お子様といっしょに楽しんでください!

見て・聞いて学ぶ!

## 展示・解説コーナー

### 京都の地質と資源

- 京都の地史・地質
- 京都盆地の地盤
- 県の石（京都府編）
- 京都の地球化学図
- 巨大地質図でみる京都地域

### 地震・活断層

- 地震の起こり方
- 京都の活断層
- 南海トラフ地震
- 京都周辺の最近の震源分布

専門家に話を聞けるチャンス!



### 地質と地域の情報

- 京都の地下水・地中熱
- 関西センター・連携企業紹介
- 第14回惑星地球フォトコンテスト入選作品展示
- ジオパーク紹介

## 地質標本館がやってきた!

標本館の展示紹介とミュージアムグッズ（風呂敷、マスキングテープなど）や地質調査総合センターの出版物（京都周辺・近刊の地質図など）の販売をおこないます。

マスキングテープ



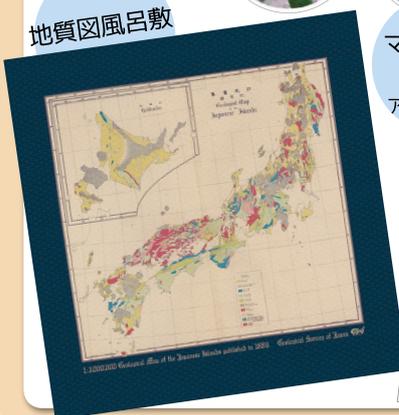
マスキングテープ



折りたたみトート



地質図風呂敷



マスキングテープ



クリアファイル 地質図



会場

京都大学  
吉田キャンパス  
吉田南1号館地階

会場アクセス

- バス停
- hoopバス停（循環路線バス）

・展示の内容は予定です。予告なく変更あるいは取りやめになる場合がございます。  
・地質情報展のスナップ写真を産総研地質調査総合センターのウェブサイトおよび出版物等に掲載させていただく場合がございます。その他の目的に使用することはございません。

#### GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典  
副委員長 小松原純子  
委員 竹原孝  
児玉信介  
戸崎裕貴  
草野有紀  
宇都宮正志  
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター  
地質情報基盤センター 出版室  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ 地質ニュース 第 12 巻 第 7 号  
令和 5 年 7 月 15 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

印刷所

#### GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori  
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko  
Editors : TAKEHARA Takashi  
KODAMA Shinsuke  
TOSAKI Yuki  
KUSANO Yuki  
UTSUNOMIYA Masayuki  
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology  
Geological Survey of Japan  
Geoinformation Service Center Publication Office  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ Chishitsu News Vol. 12 No. 7  
July 15, 2023

**Geological Survey of Japan, AIST**

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,  
Ibaraki 305-8567, Japan



山梨県大月市の猿橋は、紀元7世紀頃に初めて架けられたと言い伝えられてきた奇橋であり、古くから甲斐国<sup>かいのくに</sup>の要衝であったことが知られている。桂川<sup>かつらがわ</sup>の侵食によって生じた深い峡谷ゆえに、兩岸から四層<sup>はねき</sup>の刎木をせり出して支持している。一方、峡谷には丹沢地塊を構成する猿橋テイスait質火砕岩類(8~7 Ma)が露出しているが、橋の南端部(写真右手)のみ、河成礫層と玄武岩質溶岩に覆われている。後者は約9000年前の富士火山の噴火に由来し、当時の河谷を埋めながら流下してきた大規模溶岩流であったと解釈されている。  
(写真・文：七山 太 産総研地質調査総合センター 地質情報基盤センター / ふじのくに地球環境史ミュージアム)

Geological setting of the Saruhashi Bridge in Kai Province. Photo and caption by NANAYAMA Futoshi